

自分自身ができそうな被災地の農業再生について

被災地の農業が再生する為に必要なことは、消費者の放射線への理解を深めること、被災地で作られた作物で検査を通過したものは安全であると認識してもらうことが最も大事であると考えている。作物を作っても、被災地で作られたから危なそうといったイメージだけで売れないという実態がある。安心というのは、科学的に安全だというだけでは十分でなく、消費者の信頼を得なければならない。その安心を勝ち取るために、消費者の放射線への理解を深め、漠然とした不安を取り除かなければならない。個人レベルでできる取り組みとしては、まずは自分が放射線について詳しくなること。そして、自分の周囲の人と放射線について討論をしてみることで放射線というものへの興味を促すことで理解を深めてもらう。理解が深まると、検査の安全性が安心へとつながる。その結果検査済みのものをまずは買ってもらえ、それが被災地の農業再生につながると思う。そして大きな所としては、自分の将来の夢が困っている農家さんの助けになれる人になるということで、将来的に施設園芸のノウハウを蓄積し、外気の大气汚染などに影響されない農業を支援できるようになりたい。3. 1 1 に起因した福島原発事故への対応はできないかもしれないが、将来起こるかもしれない原発事故の際は多くの農家の農業再生の助けをできる人物となれるように勉強していく。今できる被災地の農業再生に最も役立つ方法というのは、実は勉強なのかもしれないと感じた。